

日本図書館協会に入会することでのメリット

社会教育部 中央図書館

1 日本図書館協会について

公益社団法人日本図書館協会は、さまざまな種類の図書館（公共図書館、大学図書館、学校図書館、専門図書館等）の進歩発展を図る事業を行うことにより、人々の読書や情報資料の利用を支援し、文化の進展及び学術の振興に寄与することを目的とした組織です。

同協会は、全国の図書館や大学教員などを会員として構成され、図書館振興、図書館の運営上に欠かせない日本十進分類法などのツールの開発や改訂、図書館の運用に関するガイドラインの作成、全国図書館大会等の開催、図書館情報学書籍の出版などを行っています。

また、同協会は、全国の図書館を代表して著作権について権利者団体と協議を行ったり、コロナ禍に専門家会議の求めに応じて図書館における予防対策のガイドラインを作成したり、災害により被災した図書館への助成を行うなど、全国の図書館の支えになっている組織です。

2 日本図書館協会入会することでのメリット

施設会員には、同協会の調査に基づく統計書『日本の図書館 統計と名簿』や、図書館の情報を掲載した月刊誌『図書館雑誌』等が無償で定期的に配布されています。これらを中央・西図書館両館で閲覧に供しており、利用者は図書館の最新情報を身近に知ることができます。同協会は、図書館司書を目指す人材や、図書館に興味のある方などに向けて図書情報学などの学術、知見が掲載された専門書を多数出版しており、学術の振興につながっていますが、配布資料によってこれらの同協会の図書館に関する情報が図書館職員にももたらされ、多様な図書館サービスの向上にもつながっています。

また、同協会は全国図書館大会をはじめとした、様々な研究集会等を企画しており、事例発表や情報交換を行うことを通じて、本市図書館司書の知見が広がり、図書館サービスの向上にもつながっています。

3 令和7年度当初予算（案）

10 教育費	6 社会教育費	6 図書館費	18 負担金及び交付金
		中央図書館管理運営事業	37 千円
10 教育費	6 社会教育費	6 図書館費	18 負担金及び交付金
		西図書館管理運営事業	37 千円